

【にくわえ】

懐爺によると、
「最近【にくわえ】というおぼけが出没するので、気をつけましょう」
「どんなわるさをするんじゃ」
ぼくがきくと、
「肉を盗むんですよ」
「だば、わしは、だいじょうぶじゃ。うちは、にくなんか、かえる、かねがないからのう」

でもあるとき、山田くんが、おつかいで肉を買って帰る途中、うんこをしたくなって、木陰に隠れました。

肉は邪魔（じゃま）なので、木の枝にぶらさげておきました。
うんこが終わって帰ろうとすると、肉が消えています。
「こらあ、たいへんじゃ。おかんに叱られるー」
とあわてふためいた山田くんは、あちこちを捜しまわりました。
すると、気味のわるいおやじがいて、口に肉をくわえています。
「おまえは、さいきんうわさの【にくわえ】じゃろ。おいらの肉さ、かえせ。かえさんと、おまえを肉にしちまうぞ」
山田くんが怒鳴ると、【にくわえ】は首をすくめ、
「ぼくはさ、泥棒じゃないよ。あんな木の枝にかけていたんじゃ、持って行かれるよ。うんこするときは、こうして銜（くわ）えてやれば問題ないよ。手本をお見せしただけよ」
と弁解をいうと、山田くんは肉を返して、どこかに消えてしまいました。

「にくが、かえってきて、よかったのう」
話をきいたぼくがいうと、山田くんは、苦虫を嚙みつぶした顔になって、
「だども、あの肉さ食おうとしたら、肉のなかに、【にくわえ】の歯がいっぱいこっついてさ、食えたもんじゃなかったぞ」